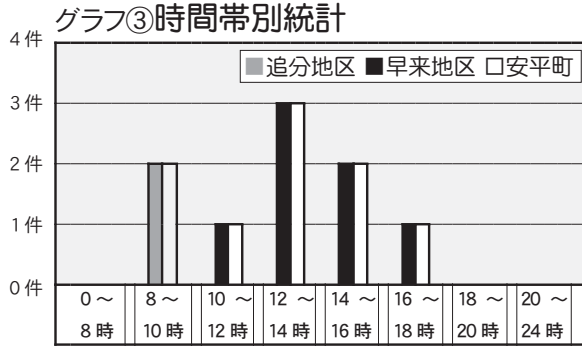


ストップ・ザ・交通事故ーデータで見る現状ー

平成21年1月1日から同年12月31日までに町内で起きた交通事故(人身事故)について安平町交通安全推進委員会が分析しました。平成21年中の町内の交通事故発生状況を見ると、人身事故件数は9件(前年比6件減)、死亡者は1人(前年比1人増減なし)、負傷者は12人(前年比16人増)となっています。

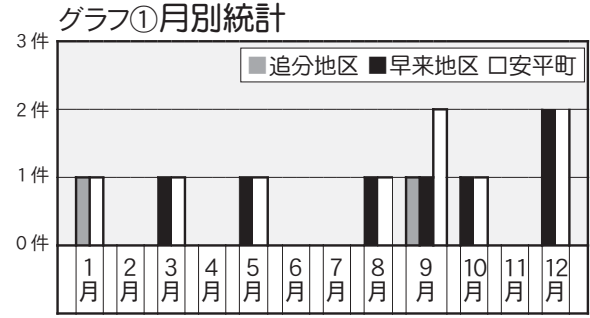
◆時間帯でみる

12時から16時までの日中に6件(66.7%)が発生しています。



◆月別でみる

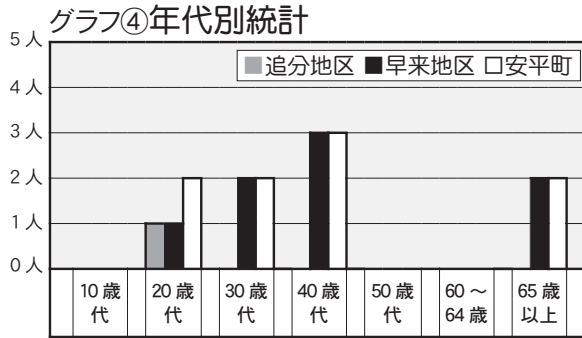
9月、12月が2件ずつ(44.4%)発生しています。季節では秋から冬(9月～1月)が6件で、全体の66.7%を占めています。このことから、秋の行楽時期と雪の降り始めにはより一層の注意が必要です。



◆年代別でみると

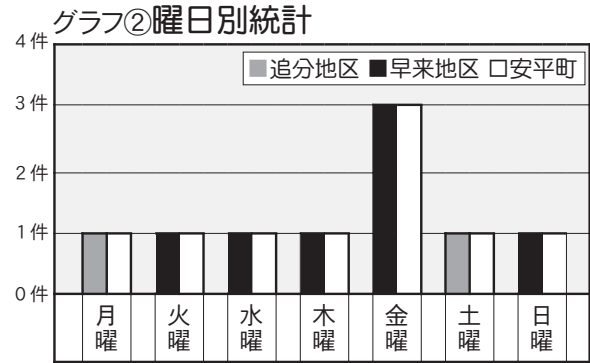
第1当事者では40歳代が最も多く、3名(33.3%)の方が事故に遭われています。

ちなみに最高齢は78歳の方が事故に遭われています。



◆曜日別でみると

金曜日に3件(33.3%)となっており、土日は意外と少ないようです。



事故発生場所の特徴

平成21年の発生場所の特徴としては、町内の交差点で4件の発生がありました。交差点では一層の注意が必要です。

なお、紙面の都合上掲載できませんが、平成18年から21年までの町内での事故発生場所を記入した図面がありますので、閲覧を希望する方は住民生活課までご連絡ください。

シートベルトの着用状況

毎月早来市街地と追分市街地においてシートベルト着用調査を実施しています。

全道における、平成21年度(4期交通安全運動期間中)の平均着用率97.5%に対し、安平町は98.9%と1.4ポイント高く(全道ランク41位)、また平成20年の96.1%より2.8ポイント上昇しています。

着用率アップを目指して

シートベルトの着用の効果は、事故の衝撃を緩和し乗員の負傷程度を軽減させます。

あなたとあなたの大切な人を守るため、車に乗る時は必ずシートベルト・チャイルド

シートを装着し、近距離移動や後部座席に乗車する場合でもシートベルトの着用を心がけましょう。

安全・安心なまちづくりの取組み

町では、「ストップ・ザ・交通事故」のゆるみその一瞬が命取りを平成22年度交通安全スローガンに掲げ次のことに取組み、町民一丸となつて交通事故のない「安全・安心なまちづくり」を目指しています。

- ・ 高齢者の交通事故防止、夜光反射材の普及
 - ・ 交差点での交通事故防止、自転車事故の防止
 - ・ スピードダウンの励行
 - ・ シートベルト着用の向上、デイルイト運動の推進
 - ・ 飲酒運転の根絶
- 今後の交通安全運動

- 夏の交通安全運動 7月16日(金)～25日(日)
- 秋の全国交通安全運動 9月21日(火)～30日(木)
- 冬の交通安全運動 11月12日(金)～21日(日)
- 問合せ 住民生活課

☎22940